

# つなぐ

No.279

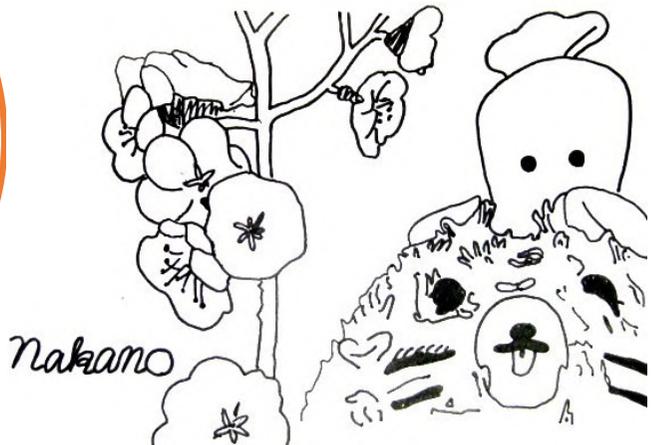
3, 4月号



## 〈もくじ〉

- P2 ぼちぼちにゆ〜す
- P3 ゆるゆる日記(後藤 雅子)
- P4 ゆと・りろ絵巻
- P5 宇陀のくらしから(廣瀬 朋)
- P6 実践の糧(室田 信一)
- P7 ぽけっとの中にはね  
(NPO法人kid'sぽけっと)
- P8、9 つなぐでツナグ〜春マップ〜
- P10 コミュニティフリッジ
- P11 研修報告
- P12 ハート・アート展報告
- P13 かげひなた(松浦 宏樹)
- P14 会費納入のお願い
- P15 事務局より

「つなぐ」は  
寝屋川市民たすけあいの会が  
2ヶ月に1度発行しています。  
会の事業・活動の報告だけでなく、  
ボランティア活動の情報や市の情報、  
連載コラムなどが掲載されています。  
寝屋川市民たすけあいの会  
については裏面を  
ごらんください。



# ぼちぼちにゅーす



ようやく春の暖かさを感じられるようになったこの頃、皆さまお変わりございませんか？

今回のぼちぼちにゅーすはクッキング特集です。



まずは節分の様子をご紹介します。今年の長い食べ物竹輪。魚の切り身からたねを作り、竹に巻いて整形し、直火で焼き上げ。

炭火を使ったかった所ですが、ガスコンロでも十分美味しかったです。

もちろん焼き上がった竹輪は恵方を向いて丸かじりしています。

お次はバレンタインです。

今年はドーナツを作りたいとリクエストがあり、みんなで作りました。

ぼちぼちはうすでは何度か焼きドーナツを作ったことはありましたが、今回は初めての揚げドーナツに挑戦。



おやつ作りの得意なスタッフを筆頭に、生地作りや生地絞りなど、各工程をみんなで協力しました。

揚げている時間が一番テンション上がりました。穴の空いたドーナツの他、まん丸ドーナツやチュロスなども作りました。

バレンタインらしく、チョコでコーティングしてからトッピング。

メンバーさんの顔をチョコペンで描く遊び心も発動して大盛り上がり。みんなペロリと召し上がっていました。

# ピザ窯が出現？

なんと！この度、ぼちぼちはうすに念願のピザ窯が出来ました。

何度も欲しいなあという話題に上がっていたピザ窯でした。これでいつでも

何度でも美味しいピザやパンが食べれるようになり、みんなウキウキそわそわしています。

また、ピザ窯を使った報告を致しますので楽しみにして下さい。



# ゆるゆる日記

「〇〇ものがたり」

その三十三

ようやく春らんまんとなり、桜も咲き始めました。

Sさんから、新入生を歓迎する挨拶をする少女のイラストが届きました。華やかなワクワク感が伝わってきて、さあ新しい年度に何を始めようという気持ちになります。

今回は、三十代後半の男性けんじさんの物語です。

けんじさんは中学卒業後様々な仕事をしました。素直でまじめなので、初めのうちはうまくいくのですが、あれこれ指示されると覚えられず、失敗が増え、怒られてばかりになり、半年以内にやめるのを繰り返してきました。

強く言われると断れず、お

金を巻き上げられ、借金がかさんだり、飲酒やギャンブルを強要され、やめられなくなったりもしました。依存症の治療を受け、健康は回復し、

仕事探しを再開しましたが、採用はされても、手順の覚えにくさをさぼっていると誤解されて、やめさせられることも度々ありました。職歴は増える一方で、履歴書を書くのも辛くなり、仕事探しをする気力がなくなっていました。

だんだんどうにでもなれという気が起こり、剃刀で手頸を切ってしまいました。幸い二人暮らしの父がすぐに発見し、応急処置だけで済みました。しかし六十代半ばの父も無職で年金も少なく、暮らしの見通しが立ちません。

そこで活躍してくれたのが、近くに住む民生委員です。市役所の健康相談につないでくれ、担当者がまずは気持ちを

落ち着けましょうと、精神科診療所に一緒に行ってくれました。医師の勧めもあり、生活保護を受けられるようになります、不安が治まりました。

少しずつ就労指導を受けて、一年後には就職し、安定した収入を得られるようになり、生活保護は廃止となりました。その後半年は頑張りましたが、複雑な仕事を命じられるようになるとパニックになり、やめてしまいました。

父からの相談を受けた民生委員が、生活保護の再利用を勧めてくれましたが、けんじさんは、きつとまた仕事をするよう言われ、自分にはできないと、聞こうという気持ちにはなれません。

民生委員が再び健康相談担当者に連絡すると、中断していた受診に付き添ってくれましたが、お金の問題の解決は手つかずです。相談支援事業

所の担当者も一緒に知恵を練り、まずは安心して働き、少額でも工賃が得られる福祉事業所に、主治医からの意見書もらい、行ってみることにしました。

そこでは自分のペースで仕事ができ、休まず通いました。そして、足りない分だけ生活保護を受け、父との二人暮らしが安定してできるようになりました。地域の見守り、健康面、福祉面の相談支援がつながると、安定した暮らしが見えてきます。





### 「遅れてきた節分」

二月後半に金曜「ランチ王」メンバーが勢ぞろいだったので、「遅れてきた節分メニュー」を作りました。相談していたメニューは、チーズ巻き寿司、大根の升の煮物でした。スーパーで様々な鬼のお面もこの日のために集めました。

献立会議では巻き寿司の具材を決めました。一本目は納豆、二本目はささみ・梅・カニカマ・チーズなど健康的な具材を巻いていきます。大根の升作りや、酢飯の前のご飯冷まし、沢山の野菜切りが大変でした。そのお陰で大根升

には花型の人参と大根が舞い、贅沢に飾り付けられました。本格的な節分メニューがずらりと並んで美しかったです。

お味の方は、大根の升も短時間で煮汁が染み込んで美味しかったです。大豆は箸で一粒ずつつまんで食べました。巻き寿司の納豆も味わい深く、ささみのトッピングも、梅・カニカマ・チーズがリードし美味しく、黙々とかぶりつきました。他にも、お味噌汁と大根の梅ポン酢サラダも作って添えました。



記念撮影に、それぞれ好きな鬼のお面をかぶってパシャ

り。大根升を作る技術が誇らしかった節分DAYでした。

### 「ドリア」

一月はメンバーさんやスタッフも体調不良でお休みが多い月でした。そんな不安な中、いつものスタッフがお休みし、初参加のスタッフが「ランチ王」を開催しました。

献立会議では、メンバーがいろいろリードをしながら進めていきます。まずは食材をテーブルに並べて、何を作ろう？肉じゃが？ドリア？と案が出来ます。挙手で決めました。結果、簡単な肉じゃがよりも、難しそうなドリアに決まり、挑戦が始まりました。フライパンでホワイトソースを作ったり（水の量が難しくベチャベチャに）、慣れないオーブンを使いました。

完成したドリアのチーズは、固かったこともあり頑なに溶けず、みんなの顔に笑みがこぼ

れましたが、ホワイトソースと絡めたライスは大盛りのわんぱく飯でおいしくがっつりいただきました。



初参加のスタッフは私から見るとハラハラしているように見えましたが、最後は「この

後、普段の仕事に戻るのが不思議です」と「ランチ王」を貴重な体験として語ってくれました。スタッフが初参加でもやり遂げられた自信に繋がる一日になりました。

(yukorin)

☆☆☆☆☆

「ゆとりろろ」blog 更新中

<http://utorino.cocolog-nifty.com/blog/>

\*たすけあいの会のホームページからでも見られます。



## ココット十周年を迎えて

今年で当事業所の『ココット』が十周年を迎えました。

当初は、無認可の作業所時代から行なってきたクッキー作りを続けていました。事業所の人が増え、それまで行なってきたお菓子づくりの質や量がとても変わってきました。そんな中、何か毎日食べてもらえるモノを作りたいなあ。」誰が言ったかわかりませんが、そんな声が出始めました。

クッキーの製造に似ていて、毎日食べるモノ・・・安易に『パン』というものが頭に浮かびま

した。そういえば知っている事業所でもパンを作っているなあ、教えてもらえるかもなあ。

それからパン屋プロジェクトが動き出します。

どんなパンにするか？とても悩みました。天然酵母？オンラインワンのハード生地？アイデアは様々ありましたが、最終的に色々悩みぬいた結果、この地域のことを考え、手頃「日常的」というキーワードからシンプルで普段の朝食に並びそうなパンを目指すことにしました。

素人が作って売れるのかとても不安でした。一生懸命作ってるから買ってあげる、そんな風に思われたくなくて、いいものを作っていいいに作ることを常に考えていました。

そんな中、まだまともに焼くことすらままならない時に、イベントへの出店依頼がきました。しかも隣の県のある港での販売で、片道一時間三十分の距離、搬入は午前中、とても悩みました。最初

は断った方がいいかと思いましたが、でも何とかしたいというのが本音でした。みんなで話し合った結果・・・やろう！ということになりました。逆算すると午前三時からの作業、集まれる時間に集まれる人で、みんないつもより早起きして・・・バタバタの日でしたが、思いがけない助っ人も来てくださり、何とか焼くことができました。販売中のことは、あまり覚えていません。みんな眠い目をこすりながら販売をしたんだと思います。

いい時代だったのででしょうか。今は、無茶だと言われるかもしれない。でもあの時のことは今でも覚えています。

あれから十年、相変わらず町のパン屋として、少々無茶な依頼や要望にも応えているココットは、パンというものを活用しながら様々な展開を行なっています。

例えば、宇陀市内にいくつもある四十年～五十年まえに都市部のベッドタウンとしてつくられたいわゆる「ニュータ

ウン」の空き家問題や高齢化の状況を学び、「ニュータウン」が今、様々な問題を抱えていることを知りました。そこからコロナ禍の中で開始したパンの移動販売」は新たに人が集う場と出会う機会をいくつかの自治会とつくりだすことを今も続けています。

さて、これからの十年、町のパン屋ココットをいつたいどんな展開が待ち受けているのでしょうか。ただ、日常のなんでもありのバタバタ感となんでも受け止めるという雰囲気は変わらないでしょう。



イギリスの社会学者で、『コンパッション都市』の著者であるアラン・ケレハー先生が昨秋日本に来日された際、多くの時間を過ごす機会に恵まれた。コンパッション都市もしくはコンパッション・コミュニティとは、死や死にゆくこと、グリーフや死別の体験を、一部の医療職などによる専門的なケアの領域に閉じ込めるのではなく、コミュニティによる共有体験として開かれたものにするという考えである。

この概念について知った当初はあまりピンとこなかった。私は二年ほど前に両親を亡くしたが、その死別経験まで人の死をあまり身近に感じたことはなかった。死や死別は、どこか自分から切り離されたものであり、他人の前で滅多に口にするのではないという先入観があった。一方、グリーフケアのように、悲嘆に寄り添うことや悲嘆の感情を言語化することを積極的に取り入れている領域もあるが、それはそれで「悲しむ人のた

めのコミュニティ」のように見えて、一般的なコミュニティからは切り離されたもの、という印象を抱いていた。

死や死別の経験は「非日常」的なものであり、私にとつては特殊な領域として位置付けていたが、ケレハー先生からコンパッション都市／コミュニティについて学ぶ中で、現代的な「死」の捉え方が特殊なものであり、本来はすべて

## 実践の糧

## 第七十九回

### むろたしんいち

の人にとつて死はもつと身近なものであるということを理解するに至った。

ケレハー先生によれば、狩猟・採集社会では、怪我をして群れと行動を共にできなくなった時点で死が確定することになる。その時代の死者の大半は乳幼児や子どもであった。それが農耕社会になると、人が定住するようになり、死

の多くは疫病によって引き起こされるようになった。依然として乳幼児や子どもの生存率は低いが、死の位置付けが変わった。死体の腐敗による疫病の蔓延を防ぐために、コミュニティが死を承認し、死者を吊ってきたのである。

それが、産業化と医療技術の進歩によって人類の平均寿命が飛躍的に伸び、大半の死は高齢期に起こるものとなり、

かつ医療職や宗教家によって専門的に対処されるものとなった。すなわち、コミュニティや一般の人々から死や死別経験が切り離されたのである。産業化以前の社会においてはコミュニティが死や死別経験を分かち合うことが当たり前だった。

コンパッション都市／コミュニティとは、死や死にゆく

こと、死別やグリーフをコミュニティに取り戻すムーブメントといえる。ただし、それは前近代的な社会に先祖返りするのではなく、近代的な医療の恩恵を受けながらも、専門家とコミュニティが手を組んで、現代にあったケアの形を模索することである。

現在、私は空き家となった実家を地域の活動拠点として開放しようと準備を進めている。当初は、故人を偲ぶような場所に人は立ち寄りたくなーいと思ひ、両親のことをあまり表に出すつもりはなかったが、コンパッション・コミュニティについて学ぶにつれ、死や死別経験をコミュニティに開かれたものにするには、むしろ自然なことなのだと考へるようになった。死や死別経験をそのように捉え直すことで、空き家はあるけどなかなか地域に開放できないという人たちが、もつと気軽に地域に使ってもらうようになれば、地域の拠点は全国にもつと増えるだろう。



# おげんない ～遊び心は夢源也～



ぽけっこの中にはね…



卒業の季節ですね！

という訳で番外編☆

急に小春日和以上のぽかぽか陽気が続いたかと思うと、またピューツと冷たい風に吹かれたり、まさしく三寒四温の毎日です。このつなぐがみなさんのお手元に届く頃には、すっかり春の陽気になっていることでしょうね。

さて、この文章を書いているのは春分の翌日、今日は朝からいつにもまして、私のスマホの通知音が何度も鳴っています。そのどれもが、昨日ちょっとバンでの学生ボランティア生活に区切りをつけた卒業生たちからのお礼やスタッフからのお返しのメッセージなどでした。今回からは、その学生たちの卒業イベントについて書かせて頂くと思います。



ちよつとバンには、様々な形でここを知り、ボランティアと

して関わってくれる学生達がいま。その多くは、めりいさんやたえママの授業を受けて、ボランティア体験でちよつとバンと出会った人たちです。特に近年は、めりいさんが遊び場の近くの大学に授業をしいていることもあり、そこからの学生さんがよく来てくれます。今年は、他の大学の学生さんも合わせて七人が四回生となり、無事卒業を迎える事になりました。

—これまでも、月二回の活動日を中心に、キャンプや他のイベントなど含め、三々四年もの月日を共にちよつとバンで過ごしてくれた学生たちに、感謝の想いを込めて卒業のタイミングでセレモニー的なことをしてきました。今年は割と早い段階から、後輩の学生が熱心に卒業イベントをどうしようかとたえママに相談を持ち掛けていたようで、実に数か月も前からどうしようかとたえママの頭の片隅にずっとこのことが居座っていたそうです(笑)！

卒業生を送り出すのは、大抵その年の自然体験教室「どんぐりキッズたんけん隊」の修了式の日の午後からになります。

ちよつとバンの主役はもちろん子ども達！この一年間楽しく活動に参加してくれた子ども達との年度最後のイベントということで、この修了式だけでもかなり力の入った準備をします。そこに午後からの卒業イベントが重なるので、本当に大仕事。しかも卒業生には内緒のサプライズ企画です！前置きだけで随分長くなってしまいましたが、次号以降は準備や当日の様子、参加した子ども達や卒業生の様子などをお届けしたいと思います。それこそこんな裏話なんて本来は表に出すものでもありませんが、昨日一日を終えて、そついでいえばこういうエピソードをまとめておくこともなかなか無いなあと思ひ、筆をとらせて貰いました。続きをお楽しみに♪ やまぐみ



# つなぐでゾナグ

いつも読んでくださっている皆様へ届けてきたつなぐ。  
 より多くの方に活動を発信できたらと思い、  
 寝屋川市内のあちらこちらにつなぐを置いていきます。  
 今回は、おすすめポイントと共に、  
 置いてもらっている6か所を紹介します！  
 また、春号にちなんで桜マップも載せてみました。  
 つなぐ片手にお花見はいかがですか？

タコ公園は、たすけあいの会のお散歩スポット。  
 タコのすべり台が目印。  
 桜並木がとってもキレイです！  
 寝屋川市には桜スポットがたくさんあります！

音楽アルバム協会  
 つなぐ30部  
 置かせてもらってます！



**NEFNE**  
 攻めたイベントが多く  
 楽しい!!!  
 スタッフさんお人好  
 やさしい!!  
 わわわわ雑貨  
 うってます!

図書館  
 市民活動センターにも設置  
**市民会館**  
 Cafe Coccalo  
 牛すじカレーが美味!  
 (土日限定らしい...)  
 店内が  
 オシャレ!!  
 居心地がよく  
 まったりできるよ~!

**四條畷イオン**  
 冷凍コーナーの  
 サムゲタンが  
 おすすめ!  
 近くには公園が  
 あるよ~!!  
 イエローシート  
 キャンペーン  
 参加しています!



## 4月1日は April Dream



株式会社PR TIMES様の企画「AprilDream」に寝屋川市民たすけあいの会として応募しました。この「April Dream」は「4月1日にウソではなく、夢を言おう。そして夢であふれる未来をついていこう」というプロジェクトです。

具体的には <夢の桜を山手線に咲かせるDream Train>

JR山手線（1編成全11両）に、2025年4月1日（火）～4月15日（火）の間、車内のデジタルサイネージに桜をモチーフにはしたデザインにて、当会の名前とかなえたい夢が掲載されることになりました。（車両間側のデジタルサイネージにて18分くらいに一回）。

今回、私たちが掲げた夢は「フードシェアリングの活動をひろげ食品ロスと戦う」です。食品ロスに関しては、「持続可能な開発目標」（SDGs：Sustainable Development Goals）のターゲットの一つとして、2030年までに世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させることが盛り込まれています。令和4年の国の公表では食品ロスの発生量は約472万トン（うち家庭系約236万トン、事業系約236万トン）と推計されています。

私たちは食べられるのに捨てられていく食品たちをみんなの力で救っていききたいのです。

私たちが、2012年にドイツの「Food sharing」がはじめた「community freedge=コミュニティフリッジ（公共冷蔵庫）」の活動をはじめて3年あまりが過ぎました。食品ロス削減に関する活動については、全くゼロからスタートした私たち。それでも3年がたち、毎月平均約2+の事業系の食品ロス削減に協力し、家庭からの食品もたくさん寄贈していただけるようになりました。そして、日本の現状だけではなく、世界の現状、この分野のグローバルな動きを考えるようになりました。

寝屋川コミュニティフリッジは、日本ではじめて、世界のCommunity freedge ネットワークに登録し、世界で広がっている「フードレスキュー」活動をすすめています。

フードレスキュー活動とは賞味期限が近づいている食品や余剰食品を主に取り扱い、これらを迅速に集めて配布することが目的の活動です。食べ物が無駄になるのを防ぎ、すぐに消費できる食品を提供することが中心になります。そして、日本でも「NPO法人 ジャパンハーベスト」を中心に提唱している「倉庫をもたないフードバンク活動」をめざしています。

最終的には、フードバンク活動がどうしても付与してしまう【貧困のラベリング】の解消をめざし、活動をひろげていきたいと思っています。

活動はローカルに、視点はグローバルに、思いは世界中に。です。

今年度の「つなぐ」では、そんな世界基準の食品ロス削減に関する活動を似たような言葉が並ぶ中、言葉やコンセプトの整理や紹介を行いつつ、エッセイ風に綴っていききたいと思います。



第9回

# ハート・アート展

開催されました!!



2025年

3/9日 10月 11火

三田屋本店

寝屋川店

やすらぎの郷ギャラリースペース

第9回を迎えた「ハート・アート展」。たくさんの方に来ていただき無事終了しました。今回は第1回目から会場として利用していた市民ギャラリーが、なんと一時閉鎖という新たな会場の探しから実行委員会はスタートしました。委員みんなで市内の様々な情報集めをしたり、意見を交換していく中で「三田屋本店～やすらぎの郷～」のギャラリースペースをお借りできることが決まりました。スペースの課題もあり、募集については一人1点と作品を限定しましたが、結果約50名のアーティストからエントリーが

ありました。しかも初出展のアーティストも多く、「ハート・アート展」の出展を楽しみにされていることが伝わります。



ハート・アート展のオリキャラ

実行委員も「ハート・アート展」を盛り上げるため朝日新聞や毎日新聞などのインタビューに対応されるなど情報を発信しました。開催期間中は、新たな会場（しかも、会場付近は駅前再開発の関係で工事中）ということもあり不安もある中でしたが、沢山の方が新聞の切り抜きやパンフレットを手にご来場くださいました。3日間という短い期間で

したが、手書きのカードでアーティストに感想を贈られるなど暖かい想いの交流がありました。長く「ハート・アート展」が大事に続けてきた想いが繋がる瞬間、そしてアートを通じた出会いの空間が今回のイベントでも広がっていました。(山野仁美)



(メッセージカードがあちこちにベタリ☆)



(新しい会場は和の雰囲気とガラス窓が特徴の三田屋さんのギャラリーで開催)



(実行委員メンバーでの記念撮影)

来場者数：約210名

作品出展数：約50点

WEB会場へ  
ようこそ



詳しくは特設サイト  
QRコードが読み込まない場合は  
「寝屋川ハート・アート展」で検索☆

同意するということ

シリーズ  
「かげひなた」  
第三十回

松浦宏樹

新年度となりました。私は昨年度同様、異動なく、児童相談所での勤務となりました。ただ、部署異動があり、これまでの地区担当のケースワーカーではなく、虐待対応の初動係に配属となりました。新たな部署に不安もありますが、できることをやっています。と思っています。

さて、昨年度の終わりは、ひとつの印象的な出来事がありました。昨年、十二月から一時保護をしていた四人のお子さんがいるお母さんとのやり取りです。

シングルマザーであり、精神的な不調を抱えながらも、四人のお子さんに対して愛情を持って育ててこられたお母さんでした。しかし、とあることがきっかけとなり、職権により一時保護となったケースでした。

一時保護直後は、お子さんを家庭に返してほしいというその気持ちを訴えるばかりで、なかなかケースワーカーである私との話し合いも進みませんでした。お子さんと離れて暮らす中で、より精神的な不調を訴えるようになり、家庭復帰はより一層、困難な状況に思えるようになりました。とはいえ、お子さんたちはお母さんの体調を心配し、気づかい、母子面会のなかでも、明るくふるまっていました。

年が明けて、何とかお母さんの体調も少しずつ戻ってくるなかではありましたが、私たち児童相談所は、現段階ではお母さんたちを施設入所させざるを得ない状況であるという判断をしました。

ケースワーカーである私はお母さんに対して、児童相談所としての判断をお伝えしなくてはなりません。そして、施設入所については親権者の同意を得なければならぬため、何度も面接を重ねていきました。

お子さんが安心して、お母さんと生活していくために、今、お母さんは何ができるのか、お母さんの手助けをしてくれる人はだれなのか、将来、お母さんはどういった暮らしをしたいのか、お子さんたちに

はどんなふうに行ってほしいのか……。そんな話を繰り返していききました。

お母さんやその親族さんを含めた話し合いを繰り返していく中で、私たちが施設入所を提案したおおよそ一か月後、お母さんはお子さんたちの施設入所に同意するという決断をしてくれました。

同意の意思を伝えてくれた時、お母さんは「今までは子どもがいないと生きていけないと思った。でも、それだけじゃだめなんだと思った」と話してくれました。改めて、お母さんがお子さんのことを思って生きてこられたのだと感じました。お母さん自身の人生もより豊かになるようになればと心から思います。

## 2025年度会費および寄付のお願い

さむかった冬も明け、桜が咲き、緑がまぶしい美しい季節となりました。

平素より、みなさまには、当会にご理解・ご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

おかげさまで、2018年台風21号での被災、道路拡幅に伴う立ち退き、建てかえも乗りこえ、事業活動を継続できております。そしてようやく当会前の工事もほぼ終わりました。

さて、毎年のごとではございますが、2025年度の会費納入をお願い申しあげるとなりました。甚だ勝手ではございますが、「つなぐ」を郵送等で送らせていただいている方には郵便振替用紙を同封させていただきます。当会へのご理解を賜るなか、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

すでに2025年度の会費をいち早くいただいた方には、失礼の段お許しくださいます。厚かましいお願いですが、お知り合いの方へのおさそいやご寄付等にご利用くだされば幸いです。

「つなぐ」をインターネットなどで購読いただいている方、または、郵便振替以外の方法での寄付をご希望の方は、

インターネット上からクレジットカード、または銀行振り込みにてよろしくお願いたします。

いただきました会費および寄付は、ボランティア活動、とその推進、サロン活動、こどもたちの遊びの活動、ひきこもり支援、生活困窮者支援、寝屋川コミュニティフリッジ・フードレスキュー事業など、行政から補助金がでない活動に活用させていただきます。よろしくご支援ください。

※お願い「つなぐ」へのお名前掲載に同意いただけない方は、お手数ですが、振込用紙の「匿名を希望します」にチェックを他の方法でもその旨をお知らせください。

### 寝屋川市民たすけあいの会 年会費（一口）

\* 個人会員 3000円      \* 団体会員 4000円

郵便振替 00970-0-24220

ゆうちょ銀行 099店 当座 0024220

※インターネットからは、ホームページの右上「寄付募集」をクリックして「寄付をする」から可能です。会費の場合はコメント欄に「会費」とお書きください。

## 会員・定期総会（事業・活動報告会）を開催します

2025年5月25日（日）10:30～12:00（終了予定）

2018年春の寝屋川市からの立ち退き依頼から、丸7年。ようやく、寝屋川市民たすけあいの会の前道路工事はほぼ終わり、以前とは全く変わってしまった寝屋川市民たすけあいの会周辺。最近、足が遠のいている方も、ぜひ、この機会にお越しください。昨年から、ご支援いただいている方への「活動報告会」としても開催しています。

※当日欠席の方にもご報告できるよう、後日になりますYouTube（ユーチューブ）でご覧いただけますよう配信を予定しています。

## 事務局より

### ボランティア募集しています

高齢者施設での月1回のボランティア活動です。古着の裁断や簡単な清掃などです。毎月第3火曜日午前。活動先は寝屋川市池田の特別養護老人ホームです。

「つなぐ」を置いてくださるところはありませんか？

たすけあいの会で2か月に1回の「つなぐ」発送のボランティア。みんなでわいわいと発送作業をしています。

### 寄贈のお願いをしています

#### おうちで眠っていませんか？

・裁ちばさみ・楽器[大きなものは除く]・掃除機・ミキサー・シーツ(きれいなもの)・製菓用品  
・折り紙などのきれいな紙や布・洗濯機・冷蔵庫・電子レンジ、電磁調理器など暮らしに必要なもの(使えるもの)・おふとん、毛布(新品かほぼ新品)、バスタオル(新品)。※パソコン(動くもの)、ミシン(動くもの)、カメラ(動くもの)、ゲームとゲームソフト(古くてOK)  
★学校でつかっていた問題集(解答付のみ!)少しくらいなら書き込みがあってもOK  
「あるよ～寄付してもいいよ～」という方は、たすけあいの会(072-826-4655)まで

#### 【収集しています】

切手&ハガキ  
書き損じはがき  
古切手、古カード、  
プルトップ

#### 古本募金募集しています「ハピぼん」

ご家庭で読み終えた書籍や使い終えたゲームソフトをお送りいただき、その買取相当額を寄付する仕組みです。以下のサイトをご覧ください支援先に「寝屋川市民たすけあいの会」をご指定ください。<https://hapibon.com/>

**Thank You!! Thank You!! Thank You!! Thank You!! Thank You!!**

## 協力感謝

ご支援ありがとうございます 2月1日～3月31日 (敬称略)

#### <個人会員>

大谷 繁治 宮本 泰弘 早川 貫治  
西村 久子 大霜 和美

#### <寄付>

後藤 雅子 中野 裕子 大澤 保夫  
石倉 久哉

#### <団体会員>

#### <マンスリーサポート>

足立 聡子 1企業 個人1名

【寝屋川市民たすけあいの会の活動はみなさまからの会費および寄付によって支えられています。】

◎会費・寄付は

郵便振替00970-0-24220

ゆうちょ銀行 099店 当座0024220

京都信用金庫 寝屋川支店 普通 0331898

【クレジットカード決済】はホームページの右上「寄付募集」から（クレジットカード以外にApple PayとGoogle Payもご選択いただけます。） ※恐れ入りますが、振込手数料はご負担ください。

【寄付控除を希望の方】

寝屋川市民たすけあいの会は認定NPO法人でも社会福祉法人でもありません。

手間と時間がかかりますが、寝屋川市の市民活動支援寄附金で、寄付控除を受けつつ寄付ができます。（会員およびサービス利用者以外） 詳細は「寝屋川市 市民活動支援寄附金」をご覧ください。 ※申し込みの際に「寝屋川市民たすけあいの会」を支援希望団体として指定してください。

寝屋川市民たすけあいの会は「人間が人間らしく暮らすことのできる福祉のまちづくりを目指している市民団体です。あなたもたすけあいの会の活動に参加してください。  
★個人会員・・・「たすけあいの会」の主旨に賛同してくださる方。〈年会費〉3000円  
★団体会員・・・「たすけあいの会」の主旨に賛同してくださる団体。〈年会費〉4000円  
マンスリーサポーター（毎月寄付）月500円～可能です。

編集後記

▼四月に入りやつと暖かくなってきましたね。私は花や植物にあまり詳しくありませんが、春になり、新芽が出ていたり花が咲いているこの時期はつい写真を撮りたくなります。▼春に咲く花は梅、桃、桜などありますが、皆さんは花の違いをご存知ですか？開花時期の差で見分けていて、花自体の違いを知らないこととに最近気がつきました。当たり前ですが、花びらの形、枝のつき方などで違いがあるそうです。花見はついでにきれいだな〜で終わってしまふ私なのですが、お花の細部に注目してみると新たな発見があるかもしれません。▼今年の春は植物に詳しくなってみようと思う今日この頃です。（も）

【編集】寝屋川市民たすけあいの会

〒572-0061

大阪府寝屋川市長栄寺町5-1

電話：072-826-4655

<https://neyagawatasukeai.org>

ホームページ



Facebook



Instagram